

39 期生地域ミーティング開催と鯨城会活動

【地域ミーティングに参加して考えた事】

令和6年11月22日（金）朝9時鯨城学園9階の教室前に集合。

瑞穂鯨城会の担当クラス39期 陶芸専攻（現在1年生）を対象に地域ミーティングが開催された。瑞穂鯨城会からは岩場会長、田中鯨城会幹事、中村ボランティア委員長、若山総務委員長、34期、37期の代表者2人と社会福祉協議会から神坂次長が参加しました。

学生は33人との事で全員が参加の期待から資料を準備致しましたが出席者は男性6人、女性9人で合計15人と少し寂しい思いになりました。先生からは再入学者が多いとのことのお話でしたが、以前に比べて鯨城会への関心の低さ、定年の延長等による在校生の高齢化、鯨城会に入会后役員をせねばならないなどの噂が影響していると思われます。

地域ミーティングの内容も昨年度から大きく変わりました。在学生を対象に4回開催。

1回目 1年生の専攻クラスで鯨城会と社会福祉協議会の概要と説明

因みに昨年度は瑞穂区在住者1人、今年は2人でした。

本日はこのような状況で区会の説明をしても関心が感じられないため区会の説明は最小限にして鯨城会のHPの閲覧方法についてお話しさせていただきました。

2回目 2年生の6月下旬頃 学園からボランティア活動、福祉等の体験学習の方針要請

3回目 2年生の個人が行っているボランティア経験の発表を共通講座で学生と鯨城会役員がきいてのグループワーク

4回目 ホールで複数の区がブロックに分かれて一同に区会の概要、活動説明を行う。

はたしてこの内容で鯨城会入会者は増えますか。現在、代議員会でも話し合いを頂いているようですが継続してご検討を頂き改善をお願い致します。

地域ミーティングの目的は学生の皆様が卒業後も鯨城会へ入会して仲間と親睦、教養を高め、ボランティア活動の実践による地域社会への貢献。学園の発展に寄与。

それは鯨城会の目的と同じです。瑞穂鯨城会会員は現在129人ですが、31期からの入会率は減少。会員の平均年齢は高くなり、これからの運営を新しい期だけに任せるのは難しくなると思います。入会率を上げるのも大切ですが、折角入会しても途中退会にならない事も大切だと思います。同好会等に参加頂き会員との繋がりを持って頂きたいと願います。仲間が増えれば一人の負担は軽くなり役員としての役割も軽減し、より仲間との絆が強まります。これは瑞穂鯨城会のみの問題ではなく各区鯨城会にとっても同じではないでしょうか。いつまでも生き生きと過ごすために鯨城会の活動を会員全員で盛り立てていきたいと願います。

（写真提供：37期 犬飼 基）

